

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	上	8	~	9	2	4	~	4

大単元(題材名)	言葉で伝え合おう		
中単元(曲名)	自分に質問してみよう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 相互理解，寛容		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には，相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 目的や意図に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝え合う内容を検討することができる。
	○ 意見や提案など自分の考えを話したり，それらを聞いたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 質問に答えることで，自分のことをふり返ったり，友達の考えに耳を傾けたりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 質問に答えることを通して，言葉には，相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。	(1)ア
思・判・表	○ クラスのみんなから出てきた質問を通して，自分のことをふり返りながら，その質問に答える内容を検討している。	A(1)ア (2)ア
	○ 質問に対して自分の考えを話したり，友達の答えを聞いたりしている。	A(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ クラスの友達から出てきた質問に答えることで，自分のことをふり返ったり，友達の考えに耳を傾けたりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
自分に質問してみよう①	1	○ クラスの友達に質問したいことをカードに書く。	話題の設定/内容の検討/考えの形成
		○ カードを集め，一枚を引く。	話題の設定/内容の検討/考えの形成
		○ 引いたカードについて，どう話すか考える。	話題の設定/内容の検討/考えの形成
自分に質問してみよう②	1	○ グループを作り，発表し合う。	共有
		○ 感想を交流する。	共有

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	上	10	~	12	1	4	~	4

大単元(題材名)	言葉で伝え合おう		
中単元(曲名)	風景 純銀もざいく		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	D感動, 畏敬の念		

【到達目標】

知・技	○ 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語彙を豊かにすることができる。
	○ 詩を音読したり朗読したりすることができる。
思・判・表	○ 詩に描かれた情景を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
	○ 詩を読み、情景を想像したり、そのことについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「いちめんのなのはな」を見つめる思いや、繰り返しによる表現のおもしろさに気をつけて、音読したり朗読したりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「いちめんのなのはな」の繰り返しなど、言葉の使い方に対する感覚を意識して、語彙を豊かにしている。	(1)オ, ケ
	○ 情景を想像しながら、音読したり朗読したりしている。	(1)オ, ケ
思・判・表	○ 一面に広がる菜の花畑の情景を具体的に想像したり、「いちめんのなのはな」の繰り返しの表現の効果を考えたりしている。	C(1)エ (2)イ
	○ 「風景 純銀もざいく」を読み、情景を想像したり、そのことについて考えたことを伝え合ったりしている。	C(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 「いちめんのなのはな」を見つめる思いや、繰り返しによる表現のおもしろさに気をつけて音読したり、朗読したり、言葉を伝え合ったりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
風景 純銀もざいく	1	○ 繰り返し声に出して読み、感じたことを発表し合う。	構造と内容の把握
		○ 「いちめんのなのはな」を繰り返すことのイメージを発表し合う。	精査・解釈
		○ 各連の8行目について、思ったことを発表し合う。	精査・解釈
		○ 情景が浮かんでくるように音読し合う。	共有

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	6	教出	上	13	～	17	2
							4
							4

大単元(題材名)	言葉で伝え合おう		
中単元(曲名)	あの坂をのぼれば		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	A個性の伸長／希望と勇気，努力と強い意志		

【到達目標】

知・技	○ 話や文章の構成や展開の特徴について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすることができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，読んだ感想を伝え合ったりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 同じような場面の繰り返しの中で，移り変わっていく「少年」の心の動きを具体的に想像したり，その思いを声に出したりして物語を読もうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 淡々とした，同じ場面の繰り返しのような展開となっている物語の特徴について理解している。	(1)エ， カ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ， カ
思・判・表	○ 同じような場面の繰り返しの中で，移り変わっていく「少年」の心の動きを具体的に想像したり，その表現の効果を考えたりしている。	C(1)エ (2)イ
	○ 物語を読み，内容を説明したり，すてきだと思う情景について伝え合ったりしている。	C(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 同じような場面の繰り返しの中で，移り変わっていく「少年」の心の動きを具体的に想像したり，その思いを声に出したりして物語を読んでいる。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
あの坂をのぼれば	2	○ 声に出して読み，感じたことを発表し合う。	構造と内容の把握
		○ 少年の心の動きを想像しながら，なぜ「坂」をのぼろうとしているのか考える。	精査・解釈
		○ すてきだと思う情景について話し合う。	精査・解釈
		○ 少年の心を想像しながら音読する。	共有

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	6	教出	上	18	～	20	3
							4
							4

大単元(題材名)	考えや意見を図に表して，整理してみましょう。	
中単元(曲名)	図に表して考えよう	
主領域／領域／内容の区分	B書くこと	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】		
知・技	○ 情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。	
思・判・表	○ 目的や意図に応じて，考えたことや意見を整理する図を使って，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝えたいことを明確にすることができる。	
	○ 自分の考えをまとめるために，考えや意見を図に表す活動ができる。	
主体的に学習に取り組む態度	○ 図や記号を使って，自分の考えをまとめたり，ノートを整理事りしようとする。	

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 情報と情報との関係や，語句と語句との関係を図に表して整理している。	(2)イ
思・判・表	○ 自分の考えをまとめるために，図を使って，考えたことや意見を分類したり関係付けたりして，整理している。	B(1)ア (2)ア
	○ 自分の考えをまとめるために，考えや意見を図に表している。	B(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 図や記号を使って，自分の考えや意見をまとめたり，ノートを整理事りしている。	

【学習活動】			
小単元名	時数	学習活動	学習の過程
図に表して考えよう①	1	○ 18・19ページを参考に，考えや意見を整理する図の書き方を確かめる。	情報の収集
		・ 「発想を広げたいとき」「分類したり，比べたりしたいとき」「共通点や相違点を見つけたいとき」「いくつかの観点に分けて考えたいとき」など。	情報の収集
図に表して考えよう②	1	○ クラスでいくつかテーマを設定し，グループや個人で図に表す。	考えの形成
		・ 例「山と海，どちらに行きたいか。」「自分の将来」「野球とサッカーの共通点と相違点」「学習発表会の出し物」など。	考えの形成
図に表して考えよう③	1	○ 20ページを参考に，自分の考えや意見をまとめる際のわかりやすい点を確認，自分のノートを見直す。	考えの形成
		○ 20ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	6	教出	上	22	～	27	3
							5
							5

大単元(題材名)	ー 筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう		
中単元(曲名)	春はあけぼの		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	D 自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。
	○ 事実や経験をもとに、感じたり考えたりしたことを文章に書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「春はあけぼの」の大体を知り、音読してその響きやリズムを味わうとともに、それを参考に「私の枕草子」を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「春はあけぼの」を音読して、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	(1)エ (3)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ア
思・判・表	○ 「私の枕草子」を書くために季節を選び、季節の「言葉マップ」をもとに、伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア, カ (2)ウ
	○ 「私の枕草子」を友達と読み合い、自分の文章のよいところや、自分にはない感じ方を見つけている。	B(1)ア, カ (2)ウ
	○ 季節の「言葉マップ」から選んだ言葉を使って、経験をもとに、感じたり考えたりしたことを文章に書いている。	B(1)ア, カ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 「春はあけぼの」の大体を知り、音読してその響きやリズムを味わうとともに、それを参考に「私の枕草子」を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
春はあけぼの①	1	○ 現代語訳を参考にしながら、「春はあけぼの」を音読し合う。	構造と内容の把握
春はあけぼの②	1	○ どの季節に共感したか、感想を話し合う。	共有
春はあけぼの③	1	○ 「私の枕草子」を書いて、友達と読み合う。	記述/共有

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	上	28	3	5	5

大単元(題材名)	一 筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう		
中単元(曲名)	薫風／「迷う」		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	A 善悪の判断，自律，自由と責任	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度／家族愛，家庭生活の充実	D 自然愛護

【到達目標】

知・技	○ 文章の構成や展開，文章の種類とその特徴について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事実と感想，意見などとの関係を叙述をもとに押さえ，文章全体の構成を捉えてその大体を理解することができる。
	○ 目的に応じて必要な情報を見つけたり，論の進め方について考えたりすることができる。
	○ 随筆を読み，内容を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 随筆に書かれている筆者のものの見方，感じ方，考え方を讀むとともに，優れた描写について自分の考えをまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 随筆の特徴やその構成・展開について理解している。	(1)エ，カ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，カ
思・判・表	○ 事実と感想，意見などとの関係を叙述をもとに押さえ，随筆の特徴や構成を捉えてその大体を理解している。	C(1)ア，ウ (2)イ
	○ 事例に対する筆者独自の思いや考えを見つけたり，論の進め方について考えたりしている。	C(1)ア，ウ (2)イ
	○ 随筆を読み，内容を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりしている。	C(1)ア，ウ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 随筆に書かれている筆者のものの見方，感じ方，考え方を讀むとともに，優れた描写について自分の考えをまとめようとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
薫風／「迷う」①	1	○ 全文を読み，「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
		○ 「薫風」の意味と，それについての筆者の例を確かめる。	構造と内容の把握
		○ 「薫風」に対する筆者の思いをノートにまとめる。	構造と内容の把握
		○ 筆者の挙げる「迷う」「迷わない」の事例について，友達と話し合う。	構造と内容の把握
薫風／「迷う」②	1	○ 2つの随筆について，以下の3点で話し合う。	精査・解釈
		・ 取り上げている具体例	精査・解釈
		・ 個性的な表現	精査・解釈
		・ 筆者独自の，見方・考え方	精査・解釈
薫風／「迷う」③	1	○ 「薫風」に筆者独自の意味を加えたことの効果を話し合う。	考えの形成
		○ 「迷う」に対する筆者の考えを話し合う。	考えの形成
		○ 2つの随筆に対する感想を紹介し合う。	共有
		○ 42ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	6	教出	上	43	～	45	5
							5

大単元(題材名)	一 筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう		
中単元(曲名)	随筆を書こう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	A 個性の伸長	B 親切、思いやり／相互理解、寛容	

【到達目標】

知・技	○ 思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使うとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。
	○ 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。
	○ 事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分のものの見方や感じ方、考え方を見つめて、自分の言葉で読む人に伝わるように随筆を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ できごとに対しての考えや思いに関わる語句の量を増し、随筆の中で使うとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	(1)エ、オ、ク
	○ 比喩や反復、情景描写やできごとに対する考えなど、表現の工夫に気づいている。	(1)エ、オ、ク
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ、オ、ク
思・判・表	○ 随筆を書くにあたって、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア、イ (2)ウ
	○ 読む人に伝わる随筆となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	B(1)ア、イ (2)ウ
	○ 心を動かされた体験や事例について、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について随筆に書いている。	B(1)ア、イ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 体験や事例をもとに考えをまとめ、組み立てを作っている。	
	○ 自分のものの見方や感じ方、考え方を見つめて、自分の言葉で読む人に伝わるように随筆を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
随筆を書こう①	1	○ 43ページ下段の「学習の進め方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
		○ 書く事柄を決める。	題材の設定
		・ 身近なできごと、行事、人、言葉などから、仮のテーマを決める。	題材の設定
随筆を書こう②	1	○ 仮のテーマについて、ペアで話し合い、書く事柄を決める。	題材の設定
		○ 体験や事例を書き出し、考えをまとめ、組み立てを作る。	情報の収集/考えの形成
		・ 45ページ上段の表を参考にする。	情報の収集/考えの形成
随筆を書こう③	2	○ 読み返ししながら随筆を書く。	記述/推敲
随筆を書こう④	1	○ 書いた随筆を友達と読み合う。	共有
		○ 45ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	上	46	~	47	1	5	~	5

大単元(題材名)	漢字の広場①		
中単元(曲名)	三字以上の熟語の構成		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 三字以上の熟語の構成や長い熟語を省略した言葉について理解し、語彙を豊かにしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 三字以上の熟語の構成について理解している。	(1)工, オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工, オ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 三字以上の熟語の構成について理解し、語彙を豊かにしている。	
	○ 長い言葉を省略して短くした言葉があることを理解している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
三字以上の熟語の構成	1	○ 三字以上の熟語の構成について確かめる。	
		・ 読み方, 組み立て, 意味, その漢字を使った言葉集め, その言葉の意味, 文作りなど, 46・47ページを参考にする。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	上	50	5	5	5

大単元(題材名)	二 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう		
中単元(曲名)	雪は新しいエネルギー		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A 真理の追求	D 感動、畏敬の念	

【到達目標】

知・技	○ 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて内容を把握することができる。
	○ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、筆者の考え方について考えたりすることができる。
	○ 説明や解説などの文章を読み、わかったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動ができる。
	○ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 筆者の説明の仕方の特徴について考えながら、雪のエネルギー利用についての筆者の考えをつかもうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 化石燃料と温暖化など、情報と情報との関係について理解している。	(1)エ (2)ア, イ
	○ 雪の冷熱エネルギーによる雪国の暮らし方の変化や利点について、図やグラフ、写真などを使った表し方を理解している。	(1)エ (2)ア, イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア, イ
思・判・表	○ 雪の冷熱エネルギーの事例と利点の関係など、叙述をもとに押さえ、筆者の主張を把握している。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ 筆者の主張を理解するために、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、筆者の考え方について考えたりしている。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ 「雪は新しいエネルギー」を読み、わかったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動をしている。	C(1)ア, ウ (2)ア
	○ 読む人にわかりやすい文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	B(1)イ, ウ (2)ア
	○ 筆者の考えや説明の仕方についての考えを、事実と感想、意見とを区別して書き、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)イ, ウ (2)ア
	○ 筆者の考えを説明したりそれに対する考えを書いたりするなど、考えたことや伝えたいことを書いている。	B(1)イ, ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 雪のエネルギー利用について、どのような事例と利点があるかまとめている。	
	○ 雪のエネルギー利用の可能性について、筆者の論の展開を考えている。	
	○ 筆者の説明の仕方の特徴について考えながら、雪のエネルギー利用についての筆者の考えをつかんでいる。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
雪は新しいエネルギー①	1	○ 全文を読み、「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
		○ 「地球温暖化」「異常気象」「再生可能エネルギー」などについて友達と話し合う。	構造と内容の把握
雪は新しいエネルギー②	1	○ 「雪はエネルギー」とは何か、「ガラスのピラミッド」をもとに話し合う。	精査・解釈
		○ 雪のエネルギー利用について、どのような事例と利点があるかまとめる。	精査・解釈
雪は新しいエネルギー③	1	○ 筆者が雪をエネルギーとして利用することを主張しているのはなぜかについて考える。	精査・解釈
		○ 雪のエネルギー利用による雪国の暮らしの変化の可能性と課題について、筆者の考えを確かめる。	精査・解釈
雪は新しいエネルギー④	1	○ 雪のエネルギー利用の可能性について、筆者の論の展開を考える。	考えの形成
		・ 「雪の保存という課題」「今後の課題」は、筆者の主張にどんな効果を与えているか。	考えの形成
雪は新しいエネルギー⑤	1	○ 筆者の考え方や説明の仕方について、考えたことを文章に書く。	考えの形成
		○ 書いたことを読み合い、感想を話し合う。	共有
		○ 63ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	上	64	2	6	6

大単元(題材名)	主語と述語の対応をみる		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 文の中での語句の係り方や語順について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 主語と述語が正しく対応する文にするために、どのように直したらよいか理解しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 文の中での主語と述語の対応や語順について理解している。	(1)工, 力
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工, 力
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 主語と述語が正しく対応するように考えて、文を書き直している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
主語と述語の対応をみる	2	○ 64ページの例文を参考に、主語と述語の対応関係を理解する。	
		○ 65ページの例題を考え、主語と述語の対応を確かめる。	
		・ 主語をそのままにした場合、述語をそのままにした場合	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	上	66	6	6	6

大単元(題材名)	三 立場を決めて、主張を明確にしよう		
中単元(曲名)	地域の防災について話し合おう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 相互理解，寛容		

【到達目標】

知・技	○ 思考に関わる語句の量を増し、話の中で使うとともに、語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
	○ 事実や経験をもとに、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「地域の防災」についてのパネルディスカッションを通して、自分の考えを広げたり、深めたりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 思考に関わる語句の量を増し、話の中で使うとともに、語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにしている。	(1)エ，オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，オ
思・判・表	○ 「地域の防災」について互いの立場を明確にしながらかパネルディスカッションを行い、考えを広げたりまとめたりしている。	A(1)オ (2)ウ
	○ 「地域の防災」を調べるために地域の事実や自分たちの経験をもとに、主張をまとめ、組み立てる活動をしている。	A(1)オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 「地域の防災」についてのパネルディスカッションを通して、自分の考えを広げたり、深めたりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
地域の防災について話し合おう①	1	○ 66ページ下段の「学習の進め方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
		・ 「パネルディスカッションとは」を確かめる。	話し合いの進め方の検討
地域の防災について話し合おう②	3	○ 「地域の防災」について、立場を決め、詳しく調べる。	情報の収集
		・ それぞれの立場はグループで担当し、代表をパネリストに選ぶ。	情報の収集
		○ グループで協力して、資料をもとに主張を組み立てる。	内容の検討/構成の検討
地域の防災について話し合おう③	1	○ 68～71ページを参考に、パネルディスカッションを行う。	考えの形成
地域の防災について話し合おう④	1	○ 感想を伝え合う。	共有
		○ 71ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	上	72	4	6	6

大単元(題材名)	三 立場を決めて、主張を明確にしよう		
中単元(曲名)	パンフレットで知らせよう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	C よりよい学校生活，集団生活の充実		

【到達目標】

知・技	○ 情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
思・判・表	○ 筋道の通った文章となるように，文章全体の構成や展開を考えることができる。
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整えることができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 地域の防災について知らせたいことについて，読む人のことを考えて，わかりやすいパンフレットを作ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 地域の防災に関わる事象と自分たちとの関係について，図や写真などを使って表している。	(2)イ
思・判・表	○ 見る人にわかりやすくなるように，パンフレットの構成や展開を考えている。	B(1)イ，ウ，エ，オ (2)ア
	○ 地域の防災についてわかりやすく知らせるために，簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想，意見とを区別するなど，書き表し方を工夫している。	B(1)イ，ウ，エ，オ (2)ア
	○ 地域の防災に関わる写真や資料を引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるようにパンフレットの書き方を工夫している。	B(1)イ，ウ，エ，オ (2)ア
	○ パンフレットの構成や書き表し方などに着目して，全体のレイアウトを整えている。	B(1)イ，ウ，エ，オ (2)ア
	○ 地域の防災の状況を説明したり，それに対して意見を述べたりするなど，伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)イ，ウ，エ，オ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ パンフレットに書く分担を決め，わかりやすく見やすい構成を考えている。	
	○ 地域の防災について知らせたいことについて，読む人のことを考えて，わかりやすいパンフレットを作っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
パンフレットで知らせよう ①	2	○ 72ページ下段の「学習の進め方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
		○ パネルディスカッションをもとに，違う立場や違う意見の人同士でグループを作り，知らせたい内容を話し合う。	内容の検討
		○ パンフレットに書く分担を決め，構成を考える。	構成の検討
パンフレットで知らせよう ②	2	○ パンフレットを作り，読み返す。	考えの形成/記述
		○ パンフレットを読み合う。	共有
		○ 75ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	上	76	1	6	6

大単元(題材名)	季節に合った言葉や気になる言葉を集めましょう。		
中単元(曲名)	雨		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	D自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 語句の由来などに関心をもつとともに，時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 季節に合った言葉や気になる言葉を集め，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 短歌や俳句などに使われている季節に合った言葉について，感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 季節に関わる言葉や気になる言葉・興味のある言葉などを集めて，「言葉ノート」を作ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「雨」に関わる言葉の由来などに関心をもつとともに，「雨」という言葉が暮らしの中でどのように使われてきたかに気づいている。	(1)エ (3)ウ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ウ
思・判・表	○ 「雨」に関わる言葉を集め，様子や使われている場面・できごとなどに分類したり関係付けたりして，「言葉ノート」を作っている。	B(1)ア (2)イ
	○ 短歌や俳句などに使われている季節に合った言葉について，感じたことや想像したことを書いている。	B(1)ア (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 季節に関わる言葉や気になる言葉・興味のある言葉などを集めて，「言葉ノート」を作っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
雨	1	○ 76・77ページを参考に，「雨」に関わる言葉を探して，ノートを作る。	情報の収集
		・ これからも「言葉ノート」のページを増やしていく。	情報の収集

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	上	78 ~ 79	1	7 ~ 7	

大単元(題材名)	世代による言葉の違い		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目	B 礼儀／相互理解，寛容		

【到達目標】

知・技	○ 時間の経過による言葉の変化や，世代による言葉の違いに気づくことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 世代による言葉の違いについて理解し，相手や場面に合わせて使い分けようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉は時代とともに変化することや世代による言葉の違いに気づいている。	(3)ウ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 世代による言葉の違いについて理解し，相手や場面に合わせて使い分けている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
世代による言葉の違い	1	○ 世代による言葉の違いを確かめる。	
		・ 以前はよく使っていたが，今はほとんど使われない言葉。	
		・ 今自分たちが使っている言葉で，年上の人などが気になる言葉。	
		・ 自分が小さいころ使っていて，今は使わなくなった言葉。	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	上	80	~	81	1	7	~	7

大単元(題材名)	漢字の広場②		
中単元(曲名)	複数の意味をもつ漢字		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 漢字の由来，特質などについて理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 複数の意味をもつ漢字について理解し，語彙を豊かにしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字には複数の意味をもつものがあることを理解している。	(1)エ (3)ウ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ウ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 複数の意味をもつ漢字について理解し，語彙を豊かにしている。	
	○ 複数の意味をもつ漢字を使った言葉は，元の漢字の意味を表すことを理解している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
複数の意味をもつ漢字	1	○ 漢字には，元の意味のほかに，後から意味が付け加わったり，変化したりするものがあることを理解する。	
		・ 81ページの例題で確かめる。	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	上	84	～	105	7	7	～	7

大単元(題材名)	四 すぐれた表現の効果を考え、登場人物の心情を読もう		
中単元(曲名)	川とノリオ		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	A話すこと・聞くこと	
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ		

【到達目標】

知・技	○ 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。
	○ 文章を音読したり朗読したりすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えることができる。
	○ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
	○ 物語を読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 目的や意図に応じて、読んだ物語の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝える内容を検討することができる。
	○ 互いの立場や意図を明確にしながらいかに話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 意見や提案など自分の考えを話したり、友達の考えを聞いたりする活動ができる。
	○ 時代の流れに翻弄される人間の生き方を、ノリオと家族の生き様を中心に読みながら、心に残った表現について、感想を話し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 比喩や反復・体言止めなどの表現の工夫に気づいている。	(1)エ, ク, ケ
	○ 心に残った場面を音読したり朗読したりしている。	(1)エ, ク, ケ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, ク, ケ
思・判・表	○ ノリオと家族との関わりや心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	C(1)イ, エ (2)イ
	○ ノリオの心情の変化や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	C(1)イ, エ (2)イ
	○ ノリオの心情の変化や「川」に象徴されるものを読むことを通して、自分の生き方などについて考えたことを伝え合っている。	C(1)イ, エ (2)イ
	○ 表現の特徴や効果などについて、その表現を分類したり関係付けたりして、話し合っている。	A(1)ア, オ (2)ア
	○ 心に残った表現についての感想を話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	A(1)ア, オ (2)ア
	○ 意見や感想など自分の考えを話したり、友達の考えを聞いたりしている。	A(1)ア, オ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ いつ・どのようなことが起こったのかを表にし、その時の川や川っぺちの様子について考えている。	
	○ 特徴的な表現と、その効果について話し合っている。	
	○ 時代の流れに翻弄される人間の生き方を、ノリオと家族の生き様を中心に読みながら、心に残った表現について、感想を話し合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
川とノリオ①	1	○ 全文を読み,「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
		○ 印象に残った場面を紹介し合う。	構造と内容の把握
川とノリオ②	2	○ いつ・どのようなことが起こったのかを表にし, その時の川や川っぶちの様子を考える。	精査・解釈
		・ ノリオはどのように変わったか, なぜ変わったのか。	精査・解釈
川とノリオ③	1	○ 物語の特徴的な表現と, その効果について話し合う。	精査・解釈
川とノリオ④	1	○ 「川」は何を表しているのか, 物語の構成や題名から考える。	考えの形成
川とノリオ⑤	1	○ 心に残った表現について感想を話し合う。	考えの形成
		・ 特に心に残った表現, 情景や心情表現, 思いつかないような表現	考えの形成
川とノリオ⑥	1	○ 心に残った表現のある場面を朗読する。	共有
		○ 105ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	上	106 ~ 107	2	9 ~ 9	

大単元(題材名)	友達の話をくわしく引き出しましょう。		
中単元(曲名)	教えて！ あなたのとおき		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 友情，信頼／相互理解，寛容		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には，相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて，話の内容を捉え，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめることができる。
	○ インタビューなどをして必要な情報を集めたり，それらを発表したりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 相手の思いをくわしく引き出し，自分の考えや経験と比較しながら，自分の考えをまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には，相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。	(1)ア，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ア，エ
思・判・表	○ 話し手の思いをくわしく聞き出して話の内容を捉え，自分の考えや経験と比較しながら，自分の考えをまとめている。	A(1)エ (2)イ
	○ インタビューなどをして必要な情報を集めたり，それらを発表したりする活動をしている。	A(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 「とおき」についての相手の思いをくわしく引き出し，自分の考えや経験と比較しながら，自分の考えをまとめている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
教えて！ あなたのとおき①	1	○ 学習の全体の流れをつかむ。	見通し
		○ 自分が知らせたい「とおき」のことを考える。	話題の設定
教えて！ あなたのとおき②	1	○ 二人で組を作り，聞き手と話し手に別れて，「とおき」を話す。	考えの形成
		・ それぞれ交代で行う。	考えの形成
		○ それぞれに聞き終えたら，自分の考えや経験と比較しながら，感想を伝え合う。	共有
		○ 107ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	上	108	1	9	9

大単元(題材名)	詩を味わおう		
中単元(曲名)	イナゴ		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	D自然愛護／感動，畏敬の念		

【到達目標】

知・技	○ 語感や言葉の使い方に対する感覚を深め，語彙を豊かにすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の心情などについて，描写をもとに捉えることができる。
	○ 詩を読み，内容を説明したり，考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 凝縮された言葉で描かれた情景を想像しながら，そこに象徴化された自然界を読み，それに対する自分の考えをまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 情景を凝縮した言葉や語感に対する感覚を深め，語彙を豊かにしている。	(1)オ
思・判・表	○ 「イナゴ」と向き合う「ぼく」の心情について，象徴化された表現をもとに捉えている。	C(1)イ (2)イ
	○ 詩を読み，情景や心情を想像したり，考えたことを伝え合ったりしている。	C(1)イ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 凝縮された言葉で描かれた情景を想像しながら，そこに象徴化された自然界を読み，それに対する自分の考えをまとめている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
イナゴ	1	○ 「イナゴ」に向き合う「ぼく」の思いを想像する。	精査・解釈
		・ 「イネのにおい！」に象徴化された世界を考える。	考えの形成
		・ 詩の世界をイメージしながら音読し合う。	共有

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	上	110	~	111	1	9	~	9

大単元(題材名)	生活の中から、「知恵の言葉」を探しましょう。		
中単元(曲名)	「知恵の言葉」を集めよう		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○ 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。
	○ 情報と日常生活の関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 生活の中から「知恵の言葉」を探したり、自分で考えて「知恵の言葉」を作ったりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「知恵の言葉」を集め、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。	(1)エ, オ (2)ア
	○ 日常生活の場面と「知恵の言葉」との関係について理解している。	(1)エ, オ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, オ (2)ア
思・判・表	○ 身の回りを振り返り、自分で考えた「知恵の言葉」を書く活動をしている。	B(2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 生活の中から「知恵の言葉」を探したり、自分で考えて「知恵の言葉」を作ったりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「知恵の言葉」を集めよう	1	○ 110・111ページにある「知恵の言葉」について、知っていることなどを話し合う。	情報の収集
		○ そのほかに、知っている「知恵の言葉」を発表し合う。	情報の収集
		○ 自分で考えて「知恵の言葉」を作る。	考えの形成/記述

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	上	112	5	9	9

大単元(題材名)	五 てんかいを考えて、表現を工夫して書こう		
中単元(曲名)	物語を作ろう		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	B相互理解，寛容		

【到達目標】

知・技	○ 話や文章の構成や展開について理解することができる。
	○ 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。
	○ 物語を作り、感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 写真から想像を広げ、人物の動きや心情が読者にも伝わるように、構成や表現を工夫して物語を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 物語の構成や展開について理解している。	(1)エ、カ、ク
	○ 人物や場面の様子を効果的に表現する工夫に気づいている。	(1)エ、カ、ク
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ、カ、ク
思・判・表	○ 読者にも伝わるように、物語の構成や展開を考えている。	B(1)イ、ウ、オ (2)イ
	○ 推敲しながら、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、読者にも伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)イ、ウ、オ (2)イ
	○ 物語の構成や表現などに着目して、推敲している。	B(1)イ、ウ、オ (2)イ
	○ 物語を作り、構成などを工夫して想像したことを書く活動をしている。	B(1)イ、ウ、オ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 写真の中から人物を決め、想像を広げている。	
	○ 読者の視点も考えながら、物語の展開を考えている。	
	○ 写真から想像を広げ、人物の動きや心情が読者にも伝わるように、構成や表現を工夫して物語を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
物語を作ろう①	1	○ 112ページ下段の「学習の進め方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
		○ 写真をもとに想像を広げる。	題材の設定
		・ 写真の中から人物を決める。	題材の設定
		・ その人物について「人物カード」にまとめる。(114ページ参考)	情報の収集
物語を作ろう②	2	○ 物語を組み立てる。	内容の検討/構成の検討
		・ グループで話し合い、読者の視点も考えて構成を考え合う。	内容の検討/構成の検討
		・ グループ内の友達の「組み立て」についても考え合う。	内容の検討/構成の検討
		○ 「あらすじ」を表にして、グループで考える。(116ページ参考)	内容の検討/構成の検討
物語を作ろう③	1	○ 物語を作り、読みかえす。	考えの形成/記述
		・ 効果的な表現を工夫する。	考えの形成/記述
物語を作ろう④	1	○ 友達と読み合い、感想を話し合う。	共有
		○ 117ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	上	118	3	10	10

大単元(題材名)	会話を広げる		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 友情，信頼／相互理解，寛容		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には，相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて，話の内容を捉え，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめることができる。
	○ 互いの立場や意図を明確にしながら話し合い，考えを広げたりまとめたりすることができる。
	○ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ お互いの理解を深めるために会話を広げていくには，どのようなことが大事なのか，確かめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には，相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。	(1)ア
思・判・表	○ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて，協力し合って会話を進めている。	A(1)エ，オ (2)ウ
	○ 互いの立場や意図を明確にしながら話し合い，お互いの理解を深めている。	A(1)エ，オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ お互いの理解を深めるために会話を広げていくには，どのようなことが大事なのか，確かめている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
会話を広げる①	1	○ 118・119ページを読み，初対面の人との会話について考える。	話し合いの進め方の検討
		・ 2つの■の例題を考え，話し合う。	話し合いの進め方の検討
会話を広げる②	1	○ 120・121ページを読み，友達との会話について考える。	話し合いの進め方の検討
		・ 2つの■の例題を考え，話し合う。	話し合いの進め方の検討
会話を広げる③	1	○ 今までの自分たちの会話をふり返って，話し合う。	考えの形成/共有
		・ 失敗した会話，うまくいった会話，会話で気をつけていることなど。	考えの形成/共有

[illegible]

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	下	8	7	10	10

大単元(題材名)	ー「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう		
中単元(曲名)	ぼくの世界、君の世界		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A 真理の探究	B 親切、思いやり／相互理解、寛容	

【到達目標】

知・技	○ 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的に応じて、文章を読んで必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
	○ 説明文を読み、わかったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動ができる。
	○ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。
	○ 事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 筆者の示している事例と思考の要旨を正確に捉え、筆者の考えを読みながら、自分自身の「心の世界」について考えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 筆者の考えと事例との関係について理解している。	(1)エ (2)ア, イ
	○ 事例と事例との関係付けの仕方を理解し使っている。	(1)エ (2)ア, イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア, イ
思・判・表	○ 文章を読んで、筆者が問題を解き明かしていく論の進め方について考えている。	C(1)ウ, オ (2)ア
	○ 2つの事例から筆者がどのようなことを言いたかったか、自分の考えをまとめている。	C(1)ウ, オ (2)ア
	○ 説明文を読み、わかったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりしている。	C(1)ウ, オ (2)ア
	○ 筆者の考えを読み取り、友達と話し合いながらノートにまとめている。	B(1)イ, ウ, エ (2)ア
	○ この説明文の特徴など、自分の考えが伝わるように工夫して書いている。	B(1)イ, ウ, エ (2)ア
	○ 筆者が「問題」を解き明かしていく進め方について、自分の考えが伝わるように書いている。	B(1)イ, ウ, エ (2)ア
	○ 考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)イ, ウ, エ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 「昔から大真面目に議論されてきた問題」を解き明かすための2つの事例をノートにまとめている。	
	○ 筆者が「問題」を解き明かしていく思考の進め方に気づいている。	
	○ 筆者の示した事例と思考の要旨を正確に捉え、筆者の考えを読みながら、自分自身の「心の世界」について考えている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ぼくの世界, 君の世界①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
		○ 「昔から大真面目に議論されてきた問題」をわかりやすく言いかえる。	構造と内容の把握
ぼくの世界, 君の世界②	2	○ 「昔から大真面目に議論されてきた問題」を解き明かすための2つの事例をノートにまとめる。	精査・解釈
ぼくの世界, 君の世界③	1	○ この文章の要旨を, 友達と話し合った後, ノートにまとめる。	精査・解釈
ぼくの世界, 君の世界④	1	○ 筆者が「問題」を解き明かしていく考えの進め方に, どのような特徴があるか話し合う。	精査・解釈
ぼくの世界, 君の世界⑤	1	○ 「心の世界」について, 考えたことを書く。	考えの形成
ぼくの世界, 君の世界⑥	1	○ 書いたものを読み合い, 自分の考えと比べる。	共有
		○ 19ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	下	20	～	23	4	10	～	10

大単元(題材名)	－「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう		
中単元(曲名)	「うれしさ」って何？－哲学対話をしよう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	
関連する道徳の内容項目	A 真理の探究	B 相互理解，寛容	

【到達目標】

知・技	○ 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。
	○ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
	○ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動ができる。
	○ 事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「哲学対話」の進め方について理解し、「うれしさ」についての自分の考えをまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 考えと事例との関係について理解している。	(1)エ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア
思・判・表	○ 質問をし合いながら、お互いの「うれしさ」を感じた体験を引き出し合っている。	A(1)エ，オ (2)ウ
	○ 分類を発表し合った後感想を交流することで、考えを広げたりまとめたりしている。	A(1)エ，オ (2)ウ
	○ それぞれの「うれしさ」を感じる体験を伝えるなどして話し合う活動をしている。	A(1)エ，オ (2)ウ
	○ 「うれしさ」について、自分の体験が伝わるようなカードの書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ア
	○ 事象を説明し、伝えたいことを書く活動をしてる。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 話し合いを通して、「うれしさ」の体験をくわしく引き出している。	
	○ 「哲学対話」の進め方について理解し、「うれしさ」についての自分の考えをまとめようとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「うれしさ」って何？－ 哲学対話をしよう①	1	○ 20ページ下段の「学習の進め方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
		○ 「うれしさ」について考える。	話題の設定
「うれしさ」って何？－ 哲学対話をしよう②	2	○ 「うれしさ」を感じた体験をカードにまとめる。	情報の収集
		○ 「うれしさ」について話し合い，分類する。	内容の検討
		・ 「うれしさ」の体験をくわしく引き出す。	内容の検討
		・ 「うれしさ」を分類し，名前を付ける。	考えの形成
「うれしさ」って何？－ 哲学対話をしよう③	1	○ 発表し合い，感想を交流する。	共有
		○ 23ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	下	24	5	11	11

大単元(題材名)	「変わっていく言葉」について、考えたことをまとめましょう。		
中単元(曲名)	言葉は時代とともに		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	A 真理の探究	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	

【到達目標】

知・技	○ 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。
	○ 語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合うことができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 古文や近代以降の文語調の文章を読みながら，人々と言葉とのふれ合いについて考え，「言葉」について気づいたことを文章にまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 万葉集から芥川龍之介まで，解説した文章を参考に，作品の内容の大体を知り，昔の人のものの見方や感じ方を理解している。	(1)エ (3)イ，ウ
	○ 語句の由来などに関心をもつとともに，時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき，理解している。	(1)エ (3)イ，ウ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)イ，ウ
思・判・表	○ 調べたことをもとに，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ウ，カ (2)ア
	○ 友達同士で文章に対する感想や意見を伝え合っている。	B(1)ウ，カ (2)ア
	○ 言葉について調べたことをもとに，考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ウ，カ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 古文や近代以降の文語調の文章を読みながら，人々と言葉とのふれ合いについて考え，「言葉」について気づいたことを文章にまとめている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
言葉は時代とともに①	2	○ 万葉集から芥川龍之介までの作品を，解説文を参考にしながら，音読し，感想を発表し合う。	精査・解釈
言葉は時代とともに②	1	○ 変化したり，現在はあまり使われなくなったりした言葉を探す。	精査・解釈
		・ 29・30ページを参考にする。	精査・解釈
言葉は時代とともに③	2	○ 調べたことをもとに，考えを書く。	考えの形成
		○ 書いたものを友達と読み合い，感想を伝える。	共有

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	下	32	6	11	11

大単元(題材名)	二 説得力のある文章を書こう		
中単元(曲名)	自分の考えを発信しよう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	A 個性の伸長	C 規則の尊重	

【到達目標】

知・技	○ 文と文との接続の関係，文章の構成や展開について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事実と感想，意見とを区別して書き，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整えることができる。
	○ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合うことができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分が見つけた課題について，理由や根拠をふまえ，構成や表現を工夫して説得力のある意見文を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 理由や根拠を示して記述したり，文章の構成について理解したりしている。	(1)工，力
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工，力
思・判・表	○ 事実と意見とを区別して書き，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ウ，エ，オ，力 (2)ア
	○ 課題について取材したことから引用したり，図表やグラフなどを用いたりして書き表し方を工夫している。	B(1)ウ，エ，オ，力 (2)ア
	○ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文章を整えている。	B(1)ウ，エ，オ，力 (2)ア
	○ 友達と読み合い，文章に対する感想や意見を伝え合っている。	B(1)ウ，エ，オ，力 (2)ア
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ウ，エ，オ，力 (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 意見文を書くために，日頃感じたり考えたりしていることから課題を決め，ていねいに取材している。	
	○ 自分が見つけた課題について，理由や根拠をふまえ，構成や表現を工夫して説得力のある意見文を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
自分の考えを発信しよう①	2	○ 32ページ下段の「学習の進め方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
		○ 意見文を書くために，課題を決めて，取材する。	題材の設定/情報の収集
		・ 32・33ページの「課題の探し方」「取材するとき」を参考にする。	題材の設定/情報の収集
自分の考えを発信しよう②	1	○ 取材をもとに，効果的に伝えるための構成を考える。	内容の検討/構成の検討
		・ 序論・本論・結論	内容の検討/構成の検討
自分の考えを発信しよう③	2	○ 意見文を書く。	記述
		○ 読み返す。	推敲
自分の考えを発信しよう④	1	○ 友達と読み合い，交流する。	共有
		○ 37ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023年度

教科

学年

教科書

上下教科書ページ

配当時数

配当月

国語

6

教出

下

38

~

39

1

11

~

11

大単元(題材名)	漢字の広場④		
中単元(曲名)	音を表す部分		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第6学年までに配当されている漢字を読んだり，文や文章の中で使ったりすることができる。
	○ 語句の由来などに関心をもつとともに，漢字の由来，特質などについて理解することができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字には，音を表す部分があることを理解し，同じ音を表す部分をもつ漢字の仲間を探したり，それぞれの漢字を使った熟語を集めたりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ウ
	○ 語句の由来などに関心をもつとともに，漢字には，音を表す部分があることを理解している。	(1)エ (3)ウ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字には，音を表す部分があることを理解し，同じ音を表す部分をもつ漢字の仲間を探したり，それぞれの漢字を使った熟語を集めたりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
音を表す部分	1	○ 漢字には，音を表す部分があることを理解する。	
		○ 同じ音を表す部分をもつ漢字の仲間を探したり，それぞれの漢字を使った熟語を集めたりして，発表する。	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	下	42	～	63	8	12	～	12

大単元(題材名)	三 登場人物の変化を読み、自分の考えをまとめよう		
中単元(曲名)	きつねの窓		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	C家族愛、家庭生活の充実	D生命の尊さ	

【到達目標】

知・技	○ 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
	○ 物語を読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 目的に応じて、感じたことや考えたことなど、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 物語を読み、感じたことや想像したことを書く活動ができる。
	○ 作品の構成を確かめるとともに、「ぼく」と子ぎつねとの関わりや気持ちの移り変わりを読み、「窓」に映したいものを通して自分を考えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「ききょうの花畑」や「なつかしい庭」の描写に対する感覚を意識して、語彙を豊かにしている。	(1)エ, オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, オ
思・判・表	○ 「ぼく」と子ぎつねの心情変化を具体的に想像したり、情景を描いた表現の効果を考えたりしている。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ 子ぎつねや「ぼく」の「窓」に映ったものや、それについて気づいたことなどをまとめている。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ 自分の「窓」に見たいものを想像することで、自分の生き方などについて考えたことを伝え合う活動をしている。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ 自分の「窓」に見たいもの、それをなぜ見たいのかを明確にしている。	B(1)ア, ウ (2)イ
	○ 自分の「窓」に見たいものを想像し、それをなぜ見たいのかを簡単に書いたり詳しく書いたり、書き表し方を工夫している。	B(1)ア, ウ (2)イ
	○ 物語を読み、感じたことや想像したことを書く活動をしている。	B(1)ア, ウ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 子ぎつねに対する「ぼく」の心情の変化を考えている。	
	○ 不思議な世界に行ったことで、「ぼく」はどのように変化したか話し合っている。	
	○ 作品の構成を確かめるとともに、「ぼく」と子ぎつねとの関わりや気持ちの移り変わりを読み、「窓」に映したいものを通して自分を考えようとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
きつねの窓①	1	○ 全文を読み,「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
きつねの窓②	2	○ 子ぎつねに対する「ぼく」の心情の変化をまとめる。	構造と内容の把握
きつねの窓③	2	○ 子ぎつねと「ぼく」の「窓」に映ったものを比べ,気づいたことをノートにまとめ,話し合う。	精査・解釈
きつねの窓④	1	○ 不思議な世界に行ったことで「ぼく」はどのように変化したか,話し合う。	考えの形成
きつねの窓⑤	1	○ もし「窓」を作れたら何を,なぜ見たいか,想像したことをノートに書く。	考えの形成/記述
きつねの窓⑥	1	○ 書いたものを友達と読み合う。	共有
		○ 63ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	下	64	~	67	6	12	~	12

大単元(題材名)	書評を書いて話し合おう		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	A話すこと・聞くこと／B書くこと	
関連する道徳の内容項目	B相互理解，寛容	C規則の尊重	

【到達目標】

知・技	○ 話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。
	○ 日常的に読書に親しみ，読書が，自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 文章を読んで理解したことに基いて，自分の考えをまとめることができる。
	○ 詩や物語，伝記などを読み，内容を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 自分の感想を伝えるために，話の構成を考えることができる。
	○ 資料を活用するなどして，自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
	○ 自分の考えを話したり，友達の考えを聞いたりする活動ができる。
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 紹介したい本について，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
	○ 今までの読書を振り返り，好きな本を選んで書評を書き，友達と読み合い，感想を交流しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 発表するときの言葉と書評を書くときの言葉の違いに気づいている。	(1)イ，エ (3)オ
	○ 日常的に読書に親しみ，読書が，自分の考えを広げることに関与することに気づいている。	(1)イ，エ (3)オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)イ，エ (3)オ
思・判・表	○ 読んだ本について，書評にまとめている。	C(1)オ (2)イ
	○ 読書を通して，自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動をしている。	C(1)オ (2)イ
	○ 友達の書評に対する感想を伝えるために，話の内容を考えている。	A(1)イ，ウ (2)ア
	○ 具体的な事例を挙げて，書評に対する自分の考えが伝わるように表現を工夫している。	A(1)イ，ウ (2)ア
	○ 自分の考えを話したり，友達の考えを聞いたりする活動をしている。	A(1)イ，ウ (2)ア
	○ 読んだ本を紹介するために，内容と感想，意見とを区別して書き，自分の考えが伝わるよう書評の書き方を工夫している。	B(1)ウ，エ (2)ア
	○ 引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，本を紹介するための書き表し方を工夫している。	B(1)ウ，エ (2)ア
	○ 紹介したい本について，考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ウ，エ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 今までの読書を振り返り，好きな本を選んで書評を書き，友達と読み合い，感想を交流している。	
	○	
	○	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
書評を書いて話し合おう①	1	○ 教材のめあてを確かめ, 「書評」の書き方を理解する。	構造と内容の把握
書評を書いて話し合おう②	4	○ 今までに読んだ本を振り返り, 好きな本の書評を書く。	記述
書評を書いて話し合おう③	1	○ 書評を読み合い, 感想を伝え合う。	共有
		○ 67ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	下	68	~	71	2	12	~	12

大単元(題材名)	敬意を表す言い方		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目	B 礼儀		

【到達目標】

知・技	○ 敬意を表す言い方を理解し、日常生活で使い慣れることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 敬意を表す言い方を理解し、その場にふさわしい言い方を使い分けようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 敬意を表す言い方を理解し、日常生活で使い慣れている。	(1)工, キ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工, キ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 敬意を表す言い方を理解し、その場にふさわしい言い方を使い分けようとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
敬意を表す言い方	2	○ 敬意を表す言い方について、その場にふさわしい使い方を知る。	
		・ 謙譲語、改まった言い方	
		・ 相手を敬ったり、思いやったりする言い方	

2023年度

教科
国語

学年
6

教科書
教出

下72

教科書ページ
73

配当時数
2

配当月
1

1

大単元(題材名)	言葉と私たち		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと／C 読むこと	
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 漢字と仮名を適切に使い分けたり、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。
	○ 意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動ができる。
	○ 目的や意図に応じて、考えたことから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
	○ 目的に応じて文章を読み、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることことができる。
	○ 文章を読み、自分の生き方などについて考えたことを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 言葉に対する3人の文章を読み、今までの自分の言語生活をふり返りながら、言葉に対する自分の思いを考えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字と仮名を適切に使い分けたり、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いたりしている。	(1)ウ
思・判・表	○ 3人の文章を読み、言葉と私たちについて、伝え合う内容を考えている。	A(1)ア (2)ア
	○ 3人の文章を読んだ感想を話したり、それらを聞いたりする活動をしている。	A(1)ア (2)ア
	○ 言葉に対する自分の思いを、3人の文章を手がかりに文章に表している。	B(1)ア, ウ (2)ア
	○ 言葉に対する自分の思いを、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ア, ウ (2)ア
	○ 言葉に対して自分の考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ア, ウ (2)ア
	○ 言葉に対する自分の思いを書くために、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。	C(1)ウ (2)イ
	○ 3人の文章を読み、言葉について考えたことを伝え合う活動をしている。	C(1)ウ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 言葉に対する3人の文章を読み、今までの自分の言語生活をふり返りながら、言葉に対する自分の思いを考えようとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
言葉と私たち①	1	○ 3人の文章を読み、感想を友達と話し合う。	考えの形成
言葉と私たち②	1	○ 言葉に対する自分の思いを文章に書く。	記述/共有
		・ 72ページ上段の3つの▼を参考にする。	記述/共有

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	6	教出	下	78	11	1	1

大単元(題材名)	四 伝記を読んで、人物の生き方について自分の考えをまとめよう		
中単元(曲名)	伊能忠敬		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A 希望と勇気，努力と強い意志／真理の探究	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	D よりよく生きる喜び

【到達目標】

知・技	○ 語句と語句との関係，語句の構成について理解し，語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 人物像や文章の全体像を具体的に想像することができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめることができる。
	○ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し，自分の考えを広げることができる。
	○ 伝記を読み，内容を説明したり，自分の考えに重ねて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 目的や意図に応じて，感じたことや考えたことなどから書くことを選び，伝えたいことを明確にすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 目的や意図に応じて，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
	○ 伊能忠敬の行動や生き方について，自分の考えをはっきりさせながら読み，その人物像や自分の考えをポスターにまとめて友達と読み合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 語句と語句との関係，語句の構成について理解し，語彙を豊かにしている。	(1)エ，オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，オ
思・判・表	○ 伊能忠敬の行動（いつ・どのようなこと）を具体的に想像している。	C(1)エ，オ，カ (2)イ
	○ 伊能忠敬の人物像について，自分の考えをまとめている。	C(1)エ，オ，カ (2)イ
	○ 伊能忠敬の人物像について，考えをまとめたことを交流し，自分の考えを広げている。	C(1)エ，オ，カ (2)イ
	○ 伊能忠敬の生き方を読み，自分の生き方に重ねて考えたことを伝え合っている。	C(1)エ，オ，カ (2)イ
	○ 伊能忠敬の生き方で深く考えさせられたことについて，自分の考えを明確にしている。	B(1)ア，ウ (2)ア
	○ 伊能忠敬の生き方や人物像についてポスターにまとめ，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ア，ウ (2)ア
	○ 伊能忠敬の生き方や人物像など，考えたことや伝えたいことを書いている。	B(1)ア，ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 伊能忠敬の行動や主なできごとを年表にし，その人生について考えている。	
	○ 伊能忠敬の人物像について話し合っている。	
	○ 伊能忠敬の行動や生き方について，自分の考えをはっきりさせながら読み，その人物像や自分の考えをポスターにまとめて友達と読み合おうとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
伊能忠敬①	1	○ 全文を読み,「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
伊能忠敬②	5	○ 伊能忠敬の行動や主なできごとを年表にし, その人生を考える。	精査・解釈
伊能忠敬③	1	○ 伊能忠敬の人物像について話し合う。	考えの形成
伊能忠敬④	1	○ 伊能忠敬の生き方で深く考えさせられたことをもとに, 自分の考えを書く。	記述
伊能忠敬⑤	3	○ 伊能忠敬の人物像, その生き方について考えたことをポスターにし, 友達と読み合う。	記述/共有
		○ 101ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	下	102	~	107	2	2	~	2

大単元(題材名)	日本語の文字		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○ 仮名及び漢字の由来，特質などについて理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字や平仮名・片仮名，ローマ字などの由来や特質を理解し，それらを使い分け，組み合わせることで文章を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 仮名及び漢字，ローマ字の由来，特質などについて理解している。	(1)エ (3)ウ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ウ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字や平仮名・片仮名，ローマ字などの由来や特質を理解し，それらを使い分け，組み合わせることで文章を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
日本語の文字	2	○ 日本語は漢字と平仮名・片仮名，ローマ字からなること，その由来や特質などを理解する。	
		・ それらを使い分け，組み合わせることで文章を書き表していることを知る。	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	下	108	~	110	1	2	~	2

大単元(題材名)	漢字の広場⑥		
中単元(曲名)	さまざまな読み方		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して，語や語句を使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ さまざまな読み方のある言葉の意味や使い方を知り，言葉について理解を深めようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ さまざまな読み方のある言葉の意味や使い方に対する感覚を意識して，語や語句を使っている。	(1)工，オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工，オ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ さまざまな読み方のある言葉の意味や使い方を知り，言葉について理解を深めている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
さまざまな読み方	1	○ さまざまな読み方のある言葉の意味や使い方を知る。	
		・ 意味によって読み方が変わる言葉	
		・ 特別な読み方の言葉	
		・ 複数の訓がある漢字	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	6	教出	下	112	~	115	9	3	~	3

大単元(題材名)	五 出会った言葉をふり返ろう		
中単元(曲名)	ひろがる言葉		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと／C 読むこと	
関連する道徳の内容項目	A 個性の伸長	B 相互理解，寛容	

【到達目標】

知・技	○ 話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。
思・判・表	○ 目的や意図に応じて，話題を決め，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝え合う内容を検討することができる。
	○ 互いの立場や意図を明確にしながら話し合い，考えをまとめることができる。
	○ 意見や提案など自分の考えを話したり，それらを聞いたりする活動ができる。
	○ 目的や意図に応じて，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど，文章に対する感想を伝え合うことができる。
	○ 事実や経験をもとに，自分にとっての意味について文章に書く活動ができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめることができる。
	○ 6年間をふり返り，自分の生き方などについて考えたことを伝え合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 6年間をふり返り，自分に贈りたい言葉を選び，友達と伝え合いながら，これからの自分を考えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 話し言葉と書き言葉との違いに気づき，使い分けている。	(1)イ
	○	
	○	
思・判・表	○ 「卒業式で自分におくりたい言葉」を選ぶため，6年間の学習をふり返り，伝え合う内容を検討している。	A(1)ア，オ (2)ア
	○ 「言葉」に対する友達の思いに寄り添いながら話し合い，考えをまとめている。	A(1)ア，オ (2)ア
	○ 「言葉」に寄せる自分の思いを話したり，友達の思いを聞いたりする活動をしている。	A(1)ア，オ (2)ア
	○ 選んだ「言葉」への自分の思いが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ウ，カ (2)ウ
	○ 選んだ「言葉」を伝え合うことを通して，感想を伝え合っている。	B(1)ウ，カ (2)ウ
	○ 「卒業式で自分におくりたい言葉」について，自分にとっての意味を文章に書く活動をしている。	B(1)ウ，カ (2)ウ
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめている。	C(1)オ (2)イ
	○ 6年間をふり返り，自分の生き方などについて考えたことを伝え合う活動をしている。	C(1)オ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 6年間をふり返り，自分に贈りたい言葉を選び，友達と伝え合いながら，これからの自分を考えようとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ひろがる言葉①	1	○ 教材を概観し、学習の流れをつかむ。	見通し
		・ どのような方法で「選んだ言葉を伝え合う」か。（発表・文集・掲示）	見通し
ひろがる言葉②	1	○ 「卒業式で自分におくりたい言葉」を選ぶ。	話題の設定/情報の収集
ひろがる言葉③	2	○ グループで、選んだ理由などを話し合う。	考えの形成
ひろがる言葉④	2	○ 選んだ言葉を工夫して表現する。	記述
ひろがる言葉⑤	3	○ 選んだ言葉を伝え合う。	共有
		・ 最初に決めた方法で。（発表・文集・掲示）	共有
		・ 感想を交流し合う。	共有